

1) エリア交通について

ディスカッション内容

- 1.現状・課題について
- 2.エリア交通の方向性について

1 チーム目

川湯のターミナルのような中心的な場所を作ったらよいのではないかと
東西方向(KKR 横からエゾライダーの通り)が歩行者専用にしやすい

2 チーム目

路駐は地元の人からすると見慣れた景色ではあるが、外部の方から見ると美しくない。

そこは法律に則り、路上の使用について改善していった方がよい。

外の方がどこに停めたらいいのかわからないということをよく言われる。

どのように路上空間を作っていくか。

(看板の設置も含めて) 動線を明確にしていった方がよい。

イソツツジ散策路への動線がわかりにくい

夏は歩行者優先 冬は規制しないなど季節に応じた規制を検討しても良いのでは

地元住民が使いやすいように、外周部だけではなくコアエリアの近くに駐車場が欲しい

3 チーム目

観光客向けの公共交通機関が少ない。

季節限定でやっているものもあるが、路線バスとは目的が違う。

路線バスが少なく、タクシーで2000円とかけて川湯温泉駅からわざわざ来るとならない。

地域の人たちにとっては街中を通った方が便利ではあるが、観光客にとっては硫黄山を通った方が需要がある。現時点では歩いていくしか方法がない。

(注釈：川湯温泉駅前から温泉街への路線バスは、国道沿いを通ってガソリンスタンドから温泉街へ入ってくるため、観光客は硫黄山に行くには徒歩しかないというご意見)

レンタサイクルの乗り捨てが出来たら便利ではないか。

川湯温泉街でレンタルし、つつじヶ丘へ行った先でバスに乗り換えるなど出来たらよいと思う。

往復で5km (2.5km片道は行けるが…) はつらいという声を聴く。ビジターセンターから意見。

冬は運転が怖いという声も聞くので、冬だけでも公共交通機関を増やすのはどうか。

歩行者優先道路にすべきかについて。今すぐ歩行者専用の道にしても、歩く人がすぐ増えることがないのでは。何のために歩くのか目的地も同時にあると良い。

資料の中で参考にしていた長門の写真を見たが、バググランドが違うのではないか（本州、縦に長い、歴史的な背景など）参考にするのはいいが、少し違うのではないか。

観光客と地元生活者とは分けた方がよいのではないか。

観光客は200m離れていてもいいが、地元の人にとっては不便なのではないか。

2) 温泉川沿いの活用について

ディスカッション内容

- 1.温泉川の思い出
- 2.将来の使い方
- 3.温泉川の管理

1 チーム目

〈思い出〉

小さいときは子どもが手を触れたりなど遊ぶ場所だった。

3年前から住み始めたが温泉街の中でありながら季節を感じられる場所。

始めて霧氷を見た時に感動した。

〈活用法〉

カップルや家族など様々

名称：温泉川「ONSEN River」リバーを使うかどうかは考えて行けばよい。

散策・遊歩道などはあった方がよい。

イベント広場は不要ではないか。

簡易的な足湯（イスがあって、愛を語る場所など）

ハルニレテラスのような川に足をつけて休める場所があったらいいと思った。

簡易的なカフェ（コーヒーなど）

〈管理〉

木々の管理

2 チーム目

〈思い出〉

冬の湯気がきれい。樹氷がきれい。

昔は特にきれいなイメージはなく、むしろ汚い川のイメージだった。

〈活用法〉

冬の方がよい。星がきれい。

川沿いに建物を建てる場合、ランニングコストがかなりかかるのでは。

マルシェなど一時的に広場で何かをやるなどにした方がよいのではないか。

遊歩道など今もあるが、何も知らないお客さんが来たときは（本当は）綺麗な湯なのだが、排水のようなイメージをもたれてしまう。その辺をわかってもらえるようにアピールしたらよいのでは。例えば、飲める湯など。

神社の方でやったライトアップがよかった。人がたくさん行ったという話だった。

〈管理〉

酸が強いため、対策や考慮が必要。

お風呂で使った排水がそのまま流れている場合はあるので、今後人が増えてくるので排水の方法を考える必要があると考えられる。

3 チーム目

〈思い出〉

とかげ捕り、ささ船等で遊んだ 源泉祭り

〈活用法〉

③～⑥エリアは温泉川への親水が欲しい

どこの角度でも温泉川が眺められるように（すり鉢状などにして）

もう少しゆったり歩ける、たたずめるような再開発をした方がよい。

あまり密集するのではなく、ぼつんぼつんとし、滞在エリアを増やした方がよい。

このエリアには宿泊施設を増やさなくてよい。①あたりに宿泊施設が良いのでは

〈管理〉

除雪しなくても融雪できるような仕組み（草津ではロードヒーティングしている）

搬入動線